

中小企業のビジネスモデル構築PBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年02月16日 ~2023年02月25日	インドネシア		<ul style="list-style-type: none"> ・システム理工学専攻、電子情報システム学科、機械制御システム学科、環境システム学科、数理科学科、生命科学科 ・修士1年生、修士2年生、学部3年生、学部4年生、学部3年生、学部2年生 	(芝浦工業大学) 学生18名、学生バイト2名、 教員2名	後藤 裕介(電子情報システム学科)、 小山 友介(環境システム学科)、 市川 学(環境システム学科)



図1 授業

インドネシア・バンドン工科大学にて、同大学学生20名と芝浦工業大学の学生14名が約10日間のgPBLを実施しました。コロナウイルスの蔓延以前で一回開催を行っており、オンラインで一回、2022年度に受け入れで大宮キャンパスで開催し、今回で4回目の開催となりました。

このプログラムでは、研究室の特色であるシステム工学やデータサイエンスといったアプローチを取り入れ、現地インドネシアのスタートアップ企業の課題解決を目的とした活動が行われました。課題に関しては、企業から見える彼ら自身の問題点について提示をお願いし、実際に学生たちの前で発表してもらっています。

学生のミッションとは、そもそも課題意識は本当に正しく、彼らが組み立てた戦略自体が客観的な視点から正しいのかといった、疑問を前提に企業を評価することです。またどういったことを考えれば、そもそも彼らが達成できるかといったこと、すなわちコンサルティングに必要な項目を参加者たちは探しながらこれらの日程を進めていきました。



図2 発表



図3 お知らせ



図4 バンドン市内